

二〇七五年一月十五日

今日の扇小学校は、競書会デーである。
校長室に映し出された予定も、競書会だけ

が並んだ。

九時～一、二年生競書会

十一時～三、四年生競書会

二時～五、六年生競書会

四時～書き初め審査会

今年度は、百周年ということもあり、書く

字を子供たちと決めました。

一年生 おうぎ

二年生 ふるさと

三年生 仲よく

四年生 大好き

五年生 肩組んで

六年生 張り切って

この活動だけは、オンライン参加は認めて

いない。自宅で取り組むの子の作品は、展示

はするが、審査の対象からは外される。あく

までも、この日、学校で書いた作品の中から

賞を選ぶのが、扇小の競書会である。

オンラインで活動の様子を見る人は多い。

で	た	ン	競			組		習	前	と	と			筆	が	え	し	か	ペ	と		っ	多	の	地
あ	人	で	書	九		み	扇	字	に	、	、			で	貼	て	て	ま	ン	小		て	く	活	域
る	は	約	会	時		、	小	を	あ	片	体			字	っ	い	、	ま	で	学		い	も	動	の
。	、	四	に	か		本	で	す	る	付	幹			を	て	る	は	書	生		る	、	を	の	
	百	十	は	ら		日	も	る	と	け	が			書	あ	隣		い	の	頃			見	方	
	人	人	、	、		の	、	と	こ	る	鍛			く	っ	に	思	た	は	は			る	々	
	を	、	多	第		競	一	こ	ろ	力	え			と	た	貼	い	記	思				と	は	
	越	参	く	一		書	年	ろ	が	が	ら			脳	こ	つ	憶	い	低				聞	地	
	え	観	の	体		会	生	が	増	育	れ			の	と	つ	が	あ	学				い	域	
	た	す	参	育		ま	は	し	え	つ	る			ト	と	こ	る	る	年				て	セ	
	。	る	観	館		で	十	て	い	こ	こ			レ	思	と	、	が	は				い	ン	
	そ	た	者	で		練	二	か	ら	な	、			ー	い	な	集	、	ど				る	タ	
	の	め	が	始		習	月	ら	は	ど	中			ニ	出	力	中	ん	教				。	ー	
	半	に	い	ま		を	か	ら	、	な	力			ン	し	が	中	室					。	に	
	分	来	た	っ		し	ら	習	幼	ど	が			グ	た	つ	中	で					。	集	
	が	校	。	た		て	か	字	稚	を	く			に	こ	つ	中	、					。	ま	
	、	し	オ	一		き	ら	に	園	、	く			な	こ	く	中	冬					。	ま	
	祖	て	ン	年		た	習	取	で	数	こ			る	は	く	休						。	集	
	父	く	ラ	生		。	取	り	も	年	こ			こ	覚	こ	み							ま	
	母	れ	イ	の							こ			こ	を	に	に							っ	
															を	紙	は							っ	
															を	の	は							て	
															を	紙	は							、	
															を	の	は							こ	
															を	紙	は							こ	

も		年	オ	育	で		供		業	が	っ				関	嬉		書	ぞ	て	注	今	を	
あ	特	々	ー	館	に	十	の	オ	式	集	た				心	し	シ	い	！	き	意	日	送	中
る	に	増	バ	で	五	日	活	ン	く	ま	ば				を	く	ン	て	○	た	す	は	る	に
。	祖	え	ー	の	百	後	動	ラ	ら	る	か				持	思	ジ	あ	○	祖	る	、	人	は
最	父	て	と	参	人	に	を	イ	い	の	り				っ	っ	あ	る	じ	父	場	声	も	「
近	母	き	な	観	を	行	見	ン	だ	、	の				て	て	横	じ	母	面	を	も	い	○
で	の	て	っ	百	越	う	て	の	っ	運	こ				く	い	断	・	夫	も	出	い	て	○
は	方	い	た	名	え	一	く	発	た	動	と				れ	た	幕	ば	妻	あ	さ	、	担	○
、	々	る	。	は	る	郷	れ	展	よ	会	を				て	。	は	、	も	っ	ず	に	任	○
横	の	。	子	、	参	土	る	も	う	や	思				い	。	年	が	い	た	見	見	が	、
断	熱	と	供	通	加	か	人	あ	な	参	い				る	々	保	見	。	ま	守	笑	が	、
幕	に	も	の	知	申	る	は	る	気	観	浮				の	増	護	て	。	た	っ	顔	が	、
を	は	良	活	か	し	た	増	が	が	日	か				だ	、	者	い	。	。	て	で	が	、
作	驚	い	動	ら	込	一	え	、	す	、	べ				と	た	ち	る	。	。	く	「	が	、
っ	か	こ	を	五	み	大	て	学	。	入	た				思	の	の	ぞ	。	。	。	。	。	。
て	さ	と	見	分	が	会	き	校		学	。				っ	競	の	！	。	。	。	。	。	。
く	れ	だ	たい	後	あ	に	た	に		学					っ	書	の	。	。	。	。	。	。	。
る	る	。	人	に	る	は	。	来		式					。	会	の	。	。	。	。	。	。	。
の	こ		は	定	。	、		て		、					に	の		。	。	。	。	。	。	。
は	と		は	員	体	す		子		卒					な	に		。	。	。	。	。	。	。

審査の結果、各学年から金賞三人、銀賞七	名が小学生審査員である。	希望者の中から抽選で選ばれた三名、合計五	つてももらう。書道クラブの部長と児童会長、	になっっている。ただし、子供には審査に加わ	いた。扇小の職員は、審査に加わらないこと	名、埼玉大学教育学部書道科の学生を三名招	校書道部から二名、豊岡高校書道部からも二	イナバさんを招いた。審査員には、向原中学	護者一名にしぼった。審査員長には書道家の	を変えた。審査会へのオンライン参加は、保	大人の熱心さによって、審査会もスタイル	るのだろうと。	族も本気で応援したり、参観したりしてくれ	取り組んでいるのだと。だからこそ、その家	シンジヨ―は思う。それだけ子供が本気で	てきたりする計画もあるようだ。	り、有名人からの応援メッセージを当日送っ	り、親戚中が集まってオンラインで応援した	を予定していたり、優勝旅行を計画していた	例えば、かるた大会では、ホテルでの祝勝会	普通になった。それ以上のことも聞いてい
---------------------	--------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------

